

令和6年度 松丘小学校 学校自己評価 集計結果



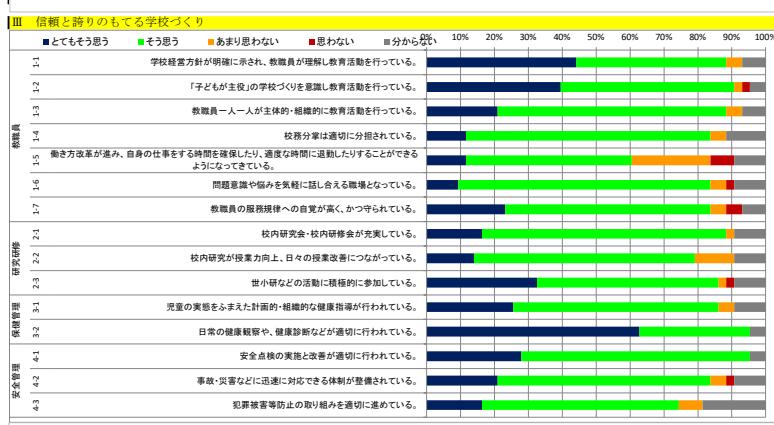
・地域連携・地域人材の活用はしているが、保護者に伝わっていない懸念があるため、保護者会などでアピールする必要がある。
・家庭教育支援・引き続き、保護者会後の親睦会で家庭教育をテーマにして話す機会をつくりていく。保護者会の出席率も減少傾向にあるので、保護者会の在り方も教員が工夫する必要がある。



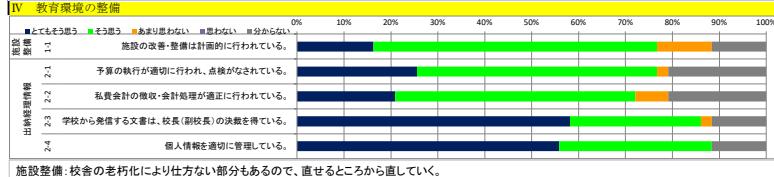
・学習指導: ひと教室30人弱と、少人数になってしまったいの教室があるのが現状。少人数指導を効果的に進めていく方法を考える必要がある。
・学習環境: 使用したワークシートを保存できるファイルを学年ごとに作成するなど、次年度以降も活用できるようにしていくといいのではないか。
・日本語: すでに作成されている日本語の指導書ファイルがあるが、かなり古い。日本語の授業充実のため、指導書を見直す必要がある。



・特別活動: 特活タイムは、高学年には有効的な時間になっていた。
・学校行事: 示された時間内での指導が難い。内容の充実を図るのか、指導時間を守るのか、学校として考えを統一していく必要がある。
・健体制: 低学年を中心に、トライアロンの走みく等を通して食育の推進をしていく必要がある。



・教職員: 学校作業日は年休がとりやすいように、会議を入れないようにする。
・研究修習: 引き続き校内研究や学年小研を通して、日々の指導力向上に努めるようにする。
・保健管理: 出欠席表が見やすくなった。安全管理: 毎月の安全点検は、引き続き学年で丁寧に確認していく。



施設整備: 校舎の老朽化により仕方ない部分もあるので、直せるところから直していく。
出納経理: 学期末の会計処理がスムーズに行えるように、システムを簡略化していく必要がある。